

ozziocloud (iOS 用) ユーザーガイド



Last update 2017.1.30

変更履歴

変更日	変更箇所	変更内容
2013/9/30	新規作成	
2013/11/11	ozziocloud(iOS)をアンインストールする	新規追加
2014/1/9	4.2.4.クラウドストレージ上の連絡先ファイル(.vcf)をダウンロードする	新規追加
2014/2/6	ご利用上の注意点	項目追加
2014/03/11	付録 設定情報インポート・リスト A項目 (iOS)	新規追加
2014/03/24	ご利用上の注意点	項目追加
2014/3/27	4.11.設定情報をバックアップする	バックアップできる件数に関して追記
	ご利用上の注意点	項目追加
2014/4/3	4.11.設定情報をバックアップする	自動バックアップに関して補足事項を追記
2014/4/16	付録 設定情報インポート・リスト A項目 (iOS)	Wi-Fi に関することを追記
2015/5/29	3. ozziocloud(iOS)にログインする	アップデートのお知らせ機能に関して追記
2015/8/5	画像の差し替え	
2016/3/25	4.2.2. iOS 端末上のファイルをアップロードする(カメラで撮影した写真を取り込み)	自動アップロードされる写真のファイル名についての説明を追加
2016/3/25	4.10. ozziocloud からアプリ起動通知を受け取る	新規追加
2016/4/5	4.10. ozziocloud からアプリ起動通知を受け取る	通知をオフにする方法を追記
2016/7/22	1.2. 動作環境	動作環境を修正
2017/1/30	1.2. 動作環境	動作環境を修正

1.	はじめに	4
1.1.	ozziocloud(iOS 用)について	4
1.2.	動作環境	4
1.3.	本マニュアルの見かた.....	4
1.4.	ご利用上の注意点	5
2.	ozziocloud(iOS 用)をインストールする	6
3.	ozziocloud(iOS 用)にログインする	7
4.	ozziocloud(iOS 用)を利用する	10
4.1.	iOS 用から利用できる機能を紹介.....	10
4.2.	ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード.....	11
4.3.	ファイル・フォルダを削除する	19
4.4.	ファイル・フォルダを移動する	21
4.5.	ファイル・フォルダの名前を変更する	23
4.6.	カメラリンクの設定	25
4.7.	カメラリンクを利用する	27
4.8.	ごみ箱を設定する	28
4.9.	ozziocloud からのお知らせを見る.....	30
4.10.	ozziocloud からアプリ起動通知を受け取る	31
4.11.	設定情報をバックアップする	32
4.12.	設定情報をリストアする	33
4.13.	設定情報の参照を行う.....	35
4.14.	設定情報をインポートする	36
4.15.	アカウント情報の確認.....	38
4.16.	パスワードを変更する.....	39
5.	ozziocloud(iOS 用)をアンインストールする	41
6.	付録 設定情報インポート・リストア項目 (iOS)	42

1. はじめに

1.1. ozziocloud(iOS 用)について

ozziocloud(iOS 用)(以下、本ツール)とは、株式会社ピーシーデポコーポレーションの提供するドキュメント・写真・音楽・ムービー等のデータを自動でバックアップし、いつでもどこでも様々なデバイスからアクセスできるクラウドストレージサービスの iOS 用クライアントです。

本ツールは、「iOS」端末よりクラウドストレージサービスにアクセスするためのツールです。

1.2. 動作環境

OS	iOS 6.1.6 以降、iOS9.3.5 まで
----	--------------------------

1.3. 本マニュアルの見かた

ボタン名、リンク名、タブ名などは[]で表記します。画面上のバージョン表記は実際のものとは異なる場合があります。

1.4. ご利用上の注意点

- iPhone5 のみファイル一覧を表示する画面におきまして、画面の一番下に表示されているファイルをクリックしても反応が鈍いことがあります。
- ゴミ箱内にあるファイルはサムネイル表示されません。
- iOS5 について、プレビューをしている際に、スワイプすることができません。プレビューを切り替える時は、画面下の矢印ボタンで切り替える必要があります。
- iOS5,iOS6 のプレビューについて、画面をタップしたときの全画面表示ができません。
- ログイン中に、本ツールまたは OS を強制終了させると 30 分間ログインできない状態になります。
- 設定情報のインポート・リストアを行う場合、データによってバックアップされたデータは追加される形で反映されます。同じ名前があっても別物として追加します。
- 本ツールをバックグラウンドに移すと、10 分後に動作が停止します。その間、カメラシンク、自動バックアップなどは行われません。

2. ozziocloud(iOS 用)をインストールする

ozziocloud (iOS 用) は、AppStore からインストールすることができます。Appstore から、「ozziocloud」を検索しインストールしてください。

3. ozziocloud(iOS 用)にログインする

ログイン方法を説明します。

1

ホーム画面より、「**ozzio cloud**」をタップします。

2

利用許諾が表示されます。内容を確認し、「**利用規約に同意する**」にチェックを入れ、「**OK**」をタップします。

ozzio cloud サービス利用規約

第1条 (規約の適用)

株式会社ビーシーデポコーポレーション（以下「当社」といいます）は、このozzio cloudサービス利用規約（以下、「本規約」といいます）を定め、これによりオンラインストレージサービス（以下、「本サービス」といいます）を提供します。

第2条 (規約の変更)

当社は、本サービスを利用する会員の承諾を得ることなく本規約を変更できるものとします。この場合、提供条件等は変更後の規約によります。

第3条 (通知)

当社がその他の方法で行う案内及び注意事項等は、本規約の一部を構成するものとし、本規約と同等の

利用規約に同意する



OK

3

ログイン画面が表示されます。

Username、Password を入力し、「**ログイン**」をタップします。

※初めてご利用の場合は、この画面の後に、ozziocloud メニュー画面が表示され、機能がご利用いただけます。既に登録済みのデバイスがある場合は、手順4以降をご参照ください。なお、同一デバイスで2回目以降のログイン時には手順4以降の画面は表示されません。

※現行でお使いのものより新しいバージョンがApp Storeに公開されている場合は、アップデートを確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択することにより、App Storeに移動します。

ozzio cloud ログイン

Username	Email
Password	Password
ログイン	

パスワードを忘れた場合はこちら

パスワードを保存する

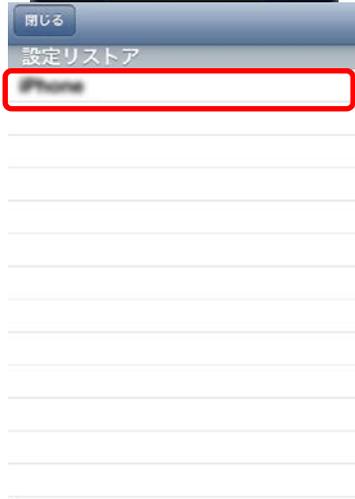
4

デバイス選択画面が表示されます。
登録済みのデバイスを使用する場合は、該当のデバイス名(A)をタップします。
新規にデバイスを登録する場合は、「新規登録」(B)をタップします。



5

デバイス選択画面が表示されます。
登録済みのデバイス情報を使用する場合は、使用したいデバイス名をタップします。



6

リストアしたいデータにチェックを入れ、「リストア実行」をタップします。



7

「リストア」をタップします。
リストアが実行されます。



4. ozziocloud(iOS 用)を利用する

インストールした本ツールの使い方を解説します。

4.1. iOS 用から利用できる機能を紹介

ファイルのアップロードとダウンロード	ozziocloud にファイルをアップロード/ダウンロードします。
ファイル・フォルダの削除・移動・名前変更	クラウドストレージ上のファイル及びフォルダに対して、削除・移動・名前の変更を行います。
カメラリンク	端末上で撮影された写真をクラウドストレージ上に自動アップロードします。
設定情報バックアップ	連絡帳データをクラウドストレージバックアップします。
設定情報リストア	バックアップした設定情報のリストアを行います。
設定情報参照	設定情報の参照を行います。
設定情報インポート	設定情報のインポートを行います。インポートする項目は下記になります。 ① 連絡帳データ ② Wi-Fi
ごみ箱の利用	不要なファイルやフォルダをごみ箱に入れることができます。元あった場所に戻すこともできます。
お知らせ	ozziocloud に関するお知らせ機能になります。

4.2. ファイル・フォルダのアップロードとダウンロード

iOS 端末上にあるファイルのアップロード方法と、クラウドストレージ上にあるファイルを iOS 端末上にダウンロードする方法は、以下の通りです。

4.2.1. iOS 端末上のファイルをアップロードする(写真アルバムから取り込み)

1

本ツールにて、アップロード先のクラウドストレージをカテゴリフォルダから選択し、アップロード先を決めます。



2

右上にあるメニューアイコンをタップします。



3

「ここにアップロード」をタップします。



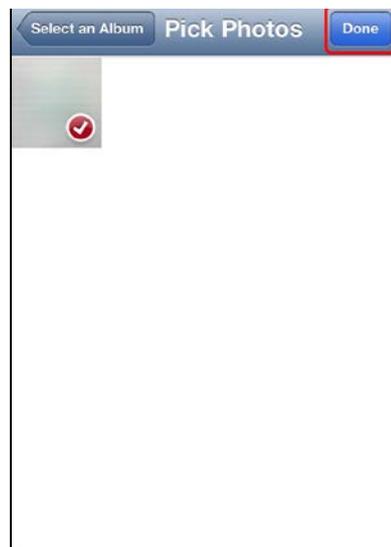
4

「OK」をタップします。



5

アップロードを行いたいファイルをチェックして、「Done」をタップします。



6

選択したカテゴリフォルダに、アップロードされます。



4.2.2. iOS 端末上のファイルをアップロードする(カメラで撮影した写真を取り込み)

1

クラウドストレージの「カメラアップロード」をタップします。



2

「カメラアップロード」にカメラで撮影した写真がアップロードされます。

※ご利用するためには、【4.6.カメラシンクの設定】を行う必要がございます。

※アップロード後のファイル名について

本ツール「ver.1.7.0」以降より、アップロード後のファイル名には日付情報の文字列(年月日時分秒)が付加されます。

例) IMG_0001_20160101123456.JPG



4.2.3. クラウドストレージ上のファイルをダウンロードする

1

ダウンロードするファイルを、本ツールのファイル一覧から選択します。



2

ダウンロードしたいファイルを一覧からタップします。



3

ファイルのダウンロードが開始され、保存されます。



4.2.4. クラウドストレージ上の連絡先ファイル(.vcf)をダウンロードする

1

ダウンロードするファイルを、本ツールのファイル一覧から選択します。



2

ダウンロードしたい連絡先ファイル(.vcf)を一覧からタップします。



3

«1つのファイルに連絡先が1件の場合»
ファイルのダウンロードが開始されます。



4

連絡先が表示されます。

新規に連絡先を登録する場合は、「**新規連絡先を作成**」をタップします。連絡先が表示されますので、足りない情報等を追加し、「**完了**」をタップします。端末の連絡先に追加されます。

既存の連絡先に情報を追加する場合は、「**既存の連絡先に追加**」をタップします。既存の連絡先一覧が表示されますので、情報を追加する連絡先をタップします。端末の連絡先に情報が追加されます。

3

«1つのファイルに連絡先が複数ある場合»
ファイルのダウンロードが開始されます。



4

ファイルに登録されている連絡先が表示されます。

「**2件すべての連絡先を追加**」をクリックします。



5

新規に連絡先を登録する場合は、「**新規連絡先を作成**」をタップします。

既存の連絡先に情報を追加する場合は、「**既存の連絡先に追加**」をタップします。

※既存の連絡先に同名のデータがない場合は、その旨が表示されます。新規に追加する場合は、「**新規連絡先を作成**」をタップ、追加をしない場合は、「**キャンセル**」をタップしてください。

端末の連絡先に追加されます。



4.3. ファイル・フォルダを削除する

1

本ツールにて、削除したいファイルまたはフォルダを選択します。



2

ファイル名の右にあるアイコンをタップします。



3

表示されたバーの「削除」をタップします。



4

表示された「削除確認ダイアログ」にて、「OK」をタップします。
選択したファイルが削除されます。



4.4. ファイル・フォルダを移動する

1

本ツールにて、移動したいファイルまたはフォルダを選択します。



2

ファイル名の右にあるアイコンをタップします。



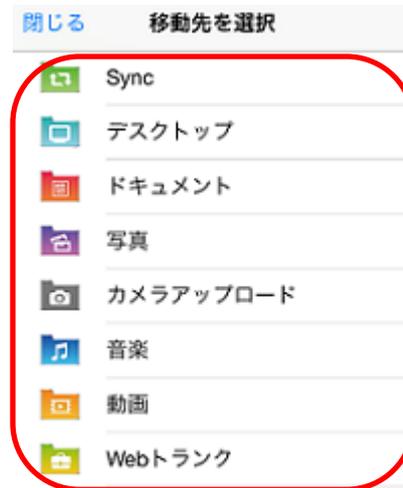
3

表示されたバーの「移動」をタップします。



4

クラウドファイル一覧から、移動先フォルダを選択します。



5

「ここに移動」をタップします。

再読み込みすることで、選択したファイルが移動元から移動先に移動します。



4.5. ファイル・フォルダの名前を変更する

1

本ツールにて、名前を変更したいファイルまたはフォルダを選択します。

2

ファイル名の右のアイコンをタップします。

3

表示されたバーの「名前変更」をタップします。



4

「ファイル名の変更」ダイアログにて、名前の変更を行います。

※「ドットマーク」以降を変更するとファイルが壊れる可能性があります。変更する場合は、「ドットマーク」より前を変更してください。



5

「OK」をタップします。

再読み込みをすることで、ファイル名が変更されます。



4.6. カメラシンの設定

モバイル端末で撮影された写真を、クラウドストレージ上に自動アップロードするための設定を行います。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



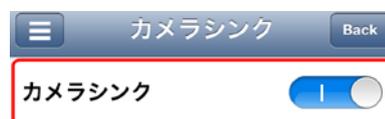
2

「カメラシンク」をタップします。



3

「カメラシンク」を ON にします。



4

「カメラシンク」を WiFi 接続時のみ実行したい場合は、「Wi-Fi 接続時のみ実行」にチェックします。



4.7. カメラシンクを利用する

iOS 端末で撮影された写真を、クラウドストレージ上に自動アップロードします。

1

モバイル端末にて、撮影を行います。

撮影された写真が、「**カメラアップロード**」に自動アップロードされます。



4.8. ごみ箱を設定する

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



2

「設定」の「アカウント設定」をタップします。



3

「アカウント」の「設定」-「ごみ箱設定」をタップします。



4

「ozziocloud ごみ箱設定」にて、「**最長保存期間 (日)**」を設定し、「**決定**」をタップします。
※設定できる最大期間は、staff tool の「**ごみ箱最大保存期間**」に設定されております。

アカウント設定

OzzioCloud
ごみ箱設定

設定できる最大期間は、3日です。

最長保存期間 (日)

2

決定

5

「**決定**」をタップします。

アカウント設定

OzzioCloud
ごみ箱設定

設定できる最大期間は、3日です。

最長保存期間 (日)

2

決定

6

「**ごみ箱の最長保持期間が正常に設定されました。**」が表示されれば、設定完了です。

アカウント設定

OzzioCloud
ごみ箱設定

ごみ箱の最長保存期間が正常に設定されました。

設定できる最大期間は、3日です。

最長保存期間 (日)

2

決定

4.9. ozziocloud からのお知らせを見る

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「お知らせ」をタップしま
す。



2

表示された通知履歴をタップすると、お知らせが
表示されます。



4.10. ozziocloud からアプリ起動通知を受け取る

1

本ツールをインストール後、本ツールを未起動状態もしくはバックグラウンドにある状態のまま1週間を経過すると、アプリ起動を促す通知メッセージが表示されます。(通知センターの設定によって、表示されない場合もあります)

また、表示されたメッセージをタップすると、本ツールが起動します。



2

通知メッセージを放置した場合、通知センターの一覧にメッセージの履歴が残ります。



※通知をオフにしたい場合は、[設定]アプリ→[通知]メニューから「Ozziocloud」を選択して設定を変更して下さい。

4.11. 設定情報をバックアップする

iOS 端末のネットワーク設定やセキュリティ設定、連絡帳データのバックアップ設定を行います。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。

※バックアップできる件数は、下記の通りとなっています。

手動バックアップ・・・1件

自動バックアップ・・・8件



2

「設定バックアップ」をタップします。



3

「自動バックアップ実行」をチェックします。

手動でバックアップを取る場合は、「今すぐ実行」をタップします。

※自動バックアップを実行するためには、「連絡帳」も ON にしておく必要があります。



4.12. 設定情報をリストアする

バックアップした設定情報をリストア(復元)します。リストアできる設定情報は、「6.付録 設定情報インポート・リストア項目 (iOS)」の 42 ページを参照ください。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「設定情報バックアップ」の「設定リストア」をタップします。



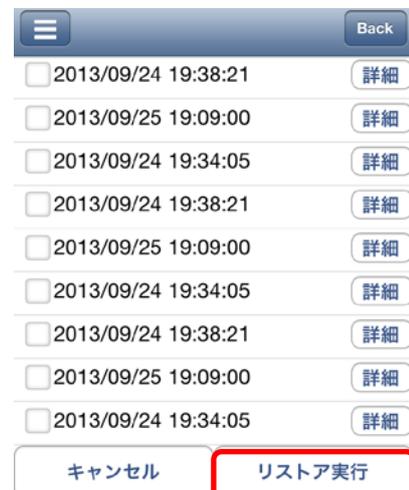
2

リストア対象の機種名をタップします。



3

リストアしたいデータにチェックを入れ、「リストア実行」をタップします。



4

「リストア」をタップします。
リストアが実行されます。



4.13. 設定情報の参照を行う

設定情報の参照を行います。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「設定情報バックアップ」の「設定参照」
をタップします。



2

参照したい情報をタップし、情報を確認します。



4.14. 設定情報をインポートする

設定情報のインポートを行います。インポートできる設定情報は、「6.付録 設定情報インポート・リストア項目 (iOS)」の 42 ページを参照ください。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「設定情報バックアップ」の「インポート」をタップします。



2

インポートしたい情報をタップします。



3

インポートしたい情報をチェックし、「インポート実行」をタップします。



4

「インポート」をタップします。
インポートが実行されます。



4.15. アカウント情報の確認

お客様のアカウント名やクラウドプラン、ストレージ使用量を確認します。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



2

「アカウント設定」をタップします。



3

「アカウント情報」が表示されます。
確認できるのは、下記の項目です。

- ① アカウント名
- ② 端末名
- ③ 契約種別
- ④ ストレージ使用量/全容量



4.16. パスワードを変更する

お客様のパスワードを変更します。

1

Home 画面にて、右にスライドします。
メニュー「その他」の「環境設定」をタップします。



2

「アカウント設定」をタップします。



3

「設定」 - 「パスワード変更」をタップします。



4

「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、
「新しいパスワード確認」を入力し、「決定」を
タップします。

アカウント設定

新しいパスワード

新しいパスワード確認

決定

5

「パスワードを変更しますか？」ダイアログの
「はい」をタップします。

アカウント設定

新しいパスワード

パスワードを変更しますか？

はい いいえ

決定

6

パスワードが変更されます。

アカウント設定

OzzioCloud

パスワード変更

パスワードが正常に更新されました。

メールアドレス

現在のパスワード

新しいパスワード

5. ozziocloud(iOS 用)をアンインストールする

ozziocloud (iOS 用) をアンインストールする際は、下記の手順に従ってください。

1

ozziocloud のアイコンを長押しし、アイコンの左上に×ボタンを表示させます。
×ボタンをタップします。



2

「削除」をタップします。



6. 付録 設定情報インポート・リストア項目 (iOS)

設定情報のインポート・リストア一覧項目です。

○	対応
△	未対応
-	対応不可

項目	小項目	インポート・リストア
ブラウザお気に入り	フォルダ	-
	タイトル	-
	URL	-
ブラウザ履歴	訪問日時	-
	タイトル	-
	URL	-
WiFi (※2)	SSID	-
	インターフェース名	-
	暗号化方式	-
	パスワード	-
	パスワード表示	-
メールアカウント	アカウント名	-
	メールアドレス	-
	POP サーバーアドレス	-
	POP ポート番号	-
	SMTP サーバーアドレス	-
	SMTP ポート番号	-
	パスワード	-
	パスワード表示	-
連絡帳	名前	○※1
	読み	○※1
	電話番号	○※1
	メールアドレス	○※1
ドライバ	モジュール名	-
	表示名	-
	説明	-

※1・・・インポート・リストアを行う場合、バックアップされたデータは追加される形で反映されます。同じ名前があっても別物として追加します。

※2・・・対応しているセキュリティ方式は、「暗号化なし」「WEP」「WPA Personal」「WPA2 Personal」になります。

【OpenSSL】

本製品には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェア及び OpenSSL プロジェクト (<http://www.openssl.org/>) によって開発されたソフトウェア (OpenSSL Toolkit で使用)、Tim Hudson 氏 (tjh@cryptsoft.com) によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれます。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)

OpenSSL License

```
/*=====
 * Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
 * modification, are permitted provided that the following conditions
 * are met:
 *
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 * the documentation and/or other materials provided with the
 * distribution.
 *
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
 * software must display the following acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
 * for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 *
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
 * endorse or promote products derived from this software without
 * prior written permission. For written permission, please contact
 * openssl-core@openssl.org.
 *
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
 * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
 * permission of the OpenSSL Project.
 *
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 * acknowledgment:
 * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
```

* for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*

=====

=====

*

* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

* All rights reserved.

*

* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscape's SSL.

*

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.

* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution

* as the author of the parts of the library used.

* This can be in the form of a textual message at program startup or

* in documentation (online or textual) provided with the package.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

* 1. Redistributions of source code must retain the copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

* documentation and/or other materials provided with the distribution.

* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software

* must display the following acknowledgement:

* "This product includes cryptographic software written by

* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library

* being used are not cryptographic related :-).

* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from

* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND

* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE

* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE

* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE

* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL

* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS

* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT

* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY

* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF

* SUCH DAMAGE.

*

* The licence and distribution terms for any publically available version or

* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be

* copied and put under another distribution licence

* [including the GNU Public Licence.]

*/